

# 新しい地域通貨の可能性

## 要旨

氏名：藤井悠右（経済学部 4 年）

近年、日本では PayPay や LINE Pay などの電子決済サービスが普及し、また仮想通貨ブームの影響による企業や自治体による仮想通貨の発行というものも各地で実践・検討されている。その影響は地域通貨にも及んでおり、本論では、こういった電子化や仮想通貨の波を受けた新しい形の地域通貨の可能性について考察する。

本論ではまず、地域通貨について、その意義と歴史について述べた後、日本において、なぜコミュニティ再生を目的とした地域通貨がその大半を占めたのかについて、日本の地域通貨の歴史と、日本の地域が抱える経済的・経済外的な課題を検討した上で考察した。また従来の日本の地域通貨の課題についても検討した。

次に、現在日本で注目を集めている 2 つの新たな地域通貨（さるぼぼコインと西粟倉村コイン）を取り上げ、その概要と特徴、課題について論じた。

最後に、新しい地域通貨の可能性について検討した。その際、地域の持続可能性というものを改めて考え直し、日本において地域の持続可能性を高めるには、①資金の域内循環と②外部からの資金調達が必要だということがわかった。さるぼぼコインは①資金の域内循環に寄与し、コスト面と流動性の面で従来の地域通貨の課題を解消でき、また西粟倉村コインは、②外部からの資金調達に寄与し、新たに関係人口の増加という役割を担うことができるということがわかった。